

議 事 録

日 時	2025年 1月28日 15:00～16:00
作成者	鈴木
場 所	基礎医学実習室

会議名	令和6年度 第2回 学校関係者評価委員会		
出席者 (敬称略)	外部委員	・ 林 弘康（東京都理学療法士協会 相談役） ・ 三沢 幸史（東京都作業療法士協会 副会長） ・ 田中 匠作（あい介護老人保健施設 作業療法士主任） ・ 関 雅彦（板橋ロイヤルケアセンター リハ科係長） ・ 横山 浩康（熊谷総合病院 リハ科 課長） ・ 下河辺 雅也（山田記念病院 リハ科 技師長） ・ 大塚 俊平（錦クリニック）	
	事務局	・ 草野 修輔（学校長） 林 正志（副校長） 石垣 栄司（教務部長） 中嶋 裕之（事務部長） - 鍋城 武志（PT学科昼間部学科長） 吉葉 則和（PT学科夜間部学科長） - 深瀬 勝久（OT学科昼間部学科長） 松生 容一（OT学科夜間部学科長） - 手塚 雅之（学生支援・相談課課長） - 鈴木 達也（事務局 課長代理） 樋口 豊朗（事務局 課長）	
	欠 席		
配 布 資 料	1. 開会挨拶(草野校長) 委員会の冒頭において、草野校長より開会の挨拶があった。		
	2. 令和 6 年度 中退率・募集の最終見通し及びマーケット動向について(中嶋事務部長) 中嶋事務部長より、令和 6 年度における中退率の現状と今後の募集見通し、ならびに学生募集を取り巻く市場の動向について報告があった。		
	3. 令和 6 年度 重点的な取組テーマについて(石垣教務部長) 石垣教務部長より、本校における中退率削減に向けた教学改革の取組について説明があった。主な内容は以下の通り。 ■ 教学改革の基本方針 ・ 教育から学習支援への転換(学習者本位) 教える技術に加え、学生の学びを支える姿勢への転換を目指す。 教員は授業以外の時間における相談対応や質問時間の確保を行い、学生の主体的な学びを支援する。 職員も学生支援に積極的に関与し、相談対応や自学自習の支援を行う。		

■ 学びやすさと学習成果の追求

- ・ 学生が理解しやすいシラバスの整備
- ・ リアクションペーパーの導入
- ・ 「授業設計・授業展開・評価方法のガイドライン」に基づいた授業展開

■ 国家試験に即した評価体制

- ・ 「試験問題作成ガイドライン」に則り、国家試験に対応した問題作成を推進

4. 質疑応答

横山委員

質問：学生からの相談体制について

回答：授業時間外での相談対応を基本とする。来年度より「オフィスアワー」制度を導入予定。あわせて、教員の在席状況が一目で分かる「教員在籍表」を掲示し、相談の利便性を高める予定。

三沢委員

質問：OT 協会でも「生涯教育」から「生涯学修」への転換を進めているが、学生にはどのように伝えているか

回答：現段階では学生への具体的な案内は行っていないが、教員の理解を深めることで自然と伝わっていくと考えている。入学予定者にはイベント等で趣旨を説明している。

関委員

意見：リアクションペーパーについて、学生によっては負担に感じる可能性があるため、導入時には丁寧な説明が必要である。

下川辺委員

質問：近年の学生の相談内容の傾向について

回答：進路や今後の方向性に関する相談のほか、クラス内の人間関係や経済的な悩みに関する相談が増加している。

5. 次回開催について

令和 7 年度の学校関係者評価委員会は、令和 7 年 6 月中旬ごろの開催を予定。

以上

議 事